

2021年度 事業報告

1



Kayama healthcare group

湖山医療福祉グループ



社会福祉法人 大和会

2021年度 大和会 事業概要 1

1. 湖山医療福祉グループ共通取組事項の推進

社会福祉法人大和会は、2018年1月1日に湖山医療福祉グループの一員となり、2020年度は多摩地区を中心とした更なる医療・介護・福祉の質的向上と法人事業の安定的発展を目指し、地域住民の皆様により良いサービスを提供し、「自らが受けたい医療と福祉の創造」の体現が出来るよう事業活動を推進してまいりました。また、グループ連携を行う上での組織再編、こやまケアISO認証取得（愛生苑）、介護ソフト（ほのぼの）やPCA会計・給与ソフトの導入など、グループ共通の取り組み事項を推進し標準化しました。

2021年度 大和会 事業概要 2

2. 新規事業へのチャレンジ

高齢系は都内特養ホームの公募及び新宿和光園の工事、補助金申請実施

★公募実績

①目黒区駒場東大前特別養護老人ホーム等公募申請

(不採択 ※主に四国で障害・高齢事業を展開する法人に決定)

★新規事業

①新宿和光園

(R3年度出来高60% 補助金実績報告書提出 工事遅延なし)

目黒区特別養護老人ホーム公募申請

○ 開設予定時期：令和7年度中

住所：東京都目黒区駒場2-846-28（財務省国家公務員宿舎駒場住宅跡地）

特別養護老人ホーム 公募定員 90名以上（うちショート10%）

防災拠点型地域交流スペース190㎡以上

小規模多機能型居宅介護（又は看多機）

登録定員29名

認知症対応型通所介護 定員12名

- 11月30日事業提案書提出 14法人
- 1月下旬一次審査結果 通過 5法人
- 2月ヒアリング～事業者決定 第4位

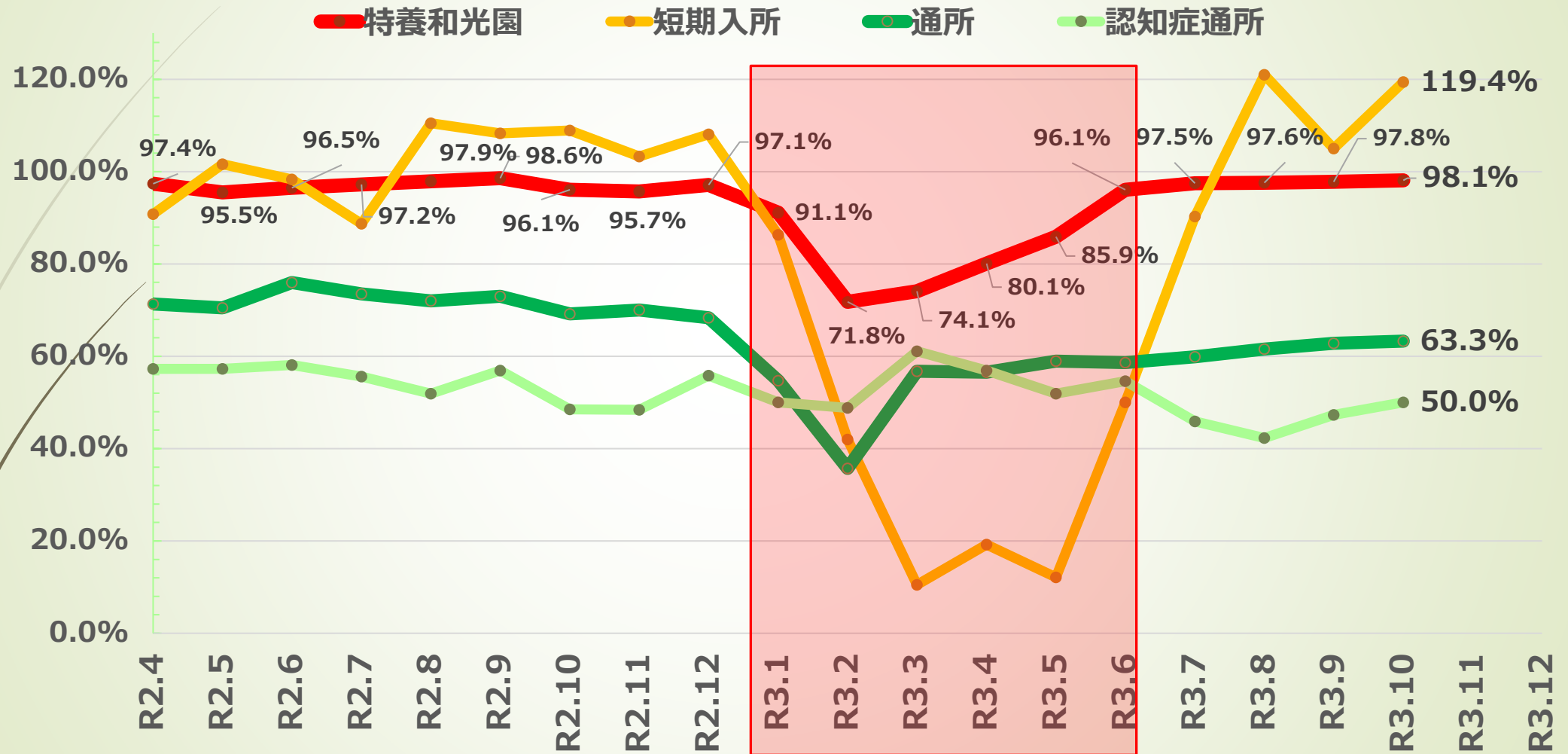


2021年度 大和会 事業概要 3

新型コロナウイルスクラスター対応と対策

和光園で一昨年1月から3月に発生した新型コロナウイルス集団感染につきましては、ご利用者74名・職員20名計94名の感染という大規模クラスターとなり、さらに令和4年4月にご利用者1名の陽性者が発生したことにより入所活動の中止を余儀なくされ、結果稼働回復まで3カ月近くを要しております。このことを教訓に「施設にウィルスを蔓延させない」をテーマに取り組み、毎月の感染症会議、勉強会を始め、ハード面でもアボット pcr検査機器や抗原検査キットの配備を推進、結果2021年度は集団感染の事案は発生しませんでした。

和光園クラスター前後における回復状況



和光園クラスターの経営影響度

特養減収額 R3/4月から6月
稼働率 98.0%⇒87.3%
▲1059万円

通所介護減収額 R3/4月から6月
稼働率 70.0%⇒59.0%
▲351万円
※通年で1,266万円減収

影響額計
1,410万円

※通年で
2,325万円

8 新規事業

新宿和光園

8

4月 整地



5月杭打設



6月土留め



7月基礎鉄筋



3月外部足場撤去工事



4月末 工事進捗状況



8月型枠工事



9月1Fコンクリート打設工事



2月1・2・3階内装工事



1月1・2階内装工事



12月4F躯体工事



11月3F型枠工事



10月2F型枠工事



工事状況： 外観・共同生活室



工事状況： 居室・共同トイレ



補助金関連進捗状況

• 定借一時金補助金	8億5892万円	R3/4支払・R3/7受領済
• 東京都施設整備補助金 (R3)	5億 940万円	5/下旬入金予定
• 新宿区施設整備補助金 (R3)	1億7280万円	5/12入金済
• 東京都賃料補助金 (R3)	483万円	5/下旬入金予定
• 東京都施設整備補助金 (R4)	3億3960万円	R4継続内示後申請
• 新宿区施設整備補助金 (R4)	1億1520万円	東京都内示後申請
• 開設準備経費補助金	8054万円	R4年9月申請
• 東京都賃料補助金 (R4)	483万円	R5年4/10 〳 実績報告
• 東京都賃料補助金 (R5)	483万円	R6年4/10 〳 実績報告
• 東京都賃料補助金 (R6)	637万円	R7年4/10 〳 実績報告
• 東京都賃料補助金 (R7)	637万円	R8年4/10 〳 実績報告

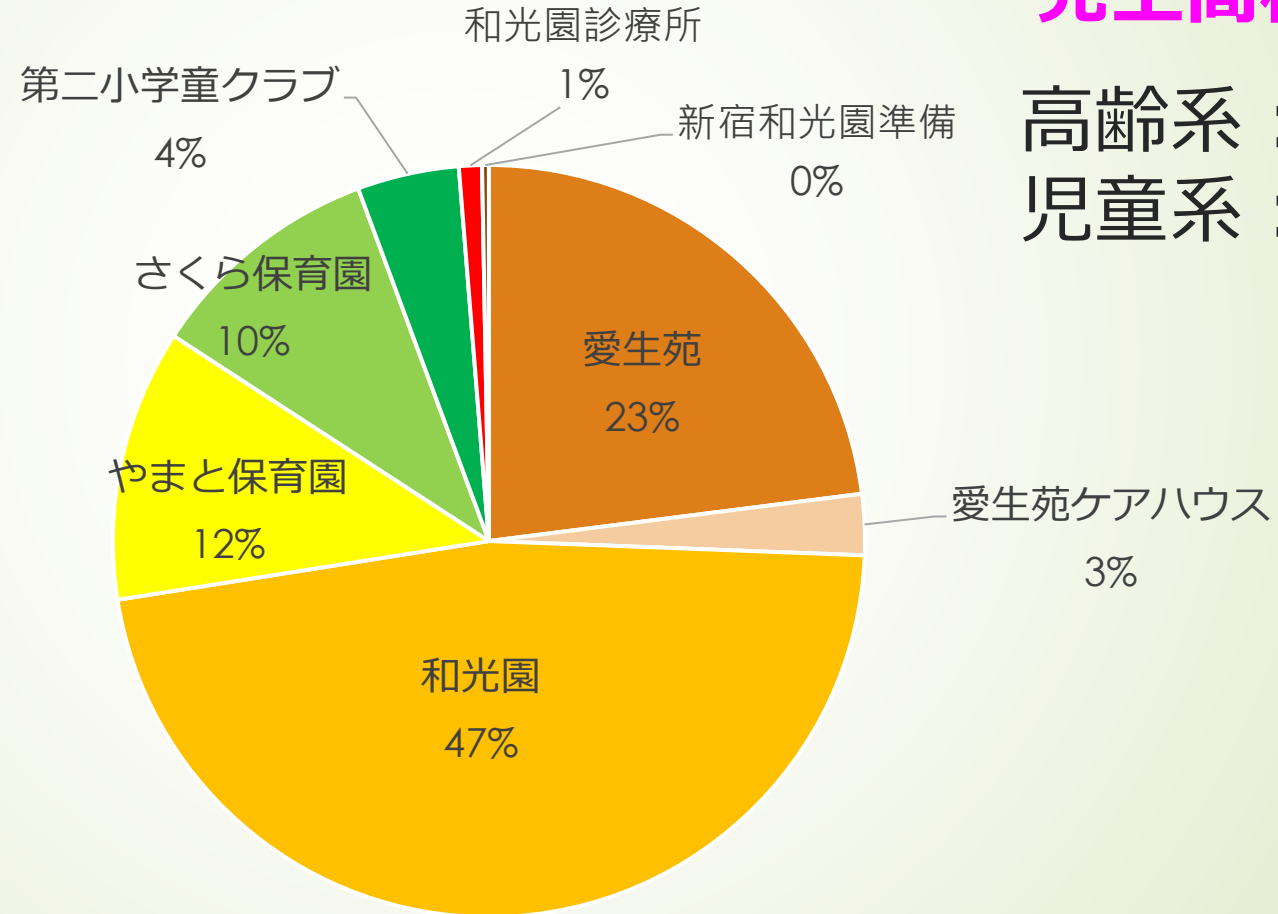
総額21億0369万円

2021年度 決算概要 I

(単位 : 万円)	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
事業活動 収入計	140,567	147,603	150,238	148,016	141,431	139,172	138,770	141,363	142,544	150,610	153,529	153,435	164,506	164,789
事業活動 支出計	138,904	142,323	142,864	141,964	135,655	138,008	131,635	132,560	133,593	138,826	142,759	150,524	165,038	172,286
事業活動 収支差額	1,663	5,280	7,374	6,051	5,777	1,164	7,135	8,804	8,951	11,784	10,771	2,911	-532	-7,498
収支 差額率	1.2%	3.7%	4.9%	4.3%	4.1%	0.8%	5.1%	6.2%	6.3%	7.8%	7.0%	1.9%	-0.3%	-4.5%
人件費 比率	65.3%	66.7%	67.5%	69.0%	68.6%	73.3%	74.3%	73.8%	73.8%	73.0%	72.5%	74.9%	76.2%	79.3%
經常利益	2,892	6,076	8,163	7,038	6,013	1,506	2,964	3,829	3,921	6,195	5,463	3,319	2	-7,354
利益率	2.0%	4.1%	5.4%	4.8%	4.2%	1.1%	2.1%	2.7%	2.8%	4.1%	3.6%	2.2%	0.0%	-4.5%
純資産	464,273	463,190	467,776	467,365	467,156	462,200	458,529	456,008	453,942	453,841	452,963	456,290	451,611	589,731
流動資産	74,651	81,780	80,626	83,630	88,033	49,760	50,138	50,496	55,470	61,804	67,255	72,925	104,592	164,694
固定資産	433,047	428,611	425,594	418,096	414,992	443,954	434,520	428,114	421,671	416,399	411,536	411,134	377,188	528,386

2021年度 決算概要 Ⅱ

- 愛生苑
- 愛生苑ケアハウス
- 和光園
- やまと保育園
- さくら保育園
- 第二小学童クラブ
- 和光園診療所
- 新宿和光園準備

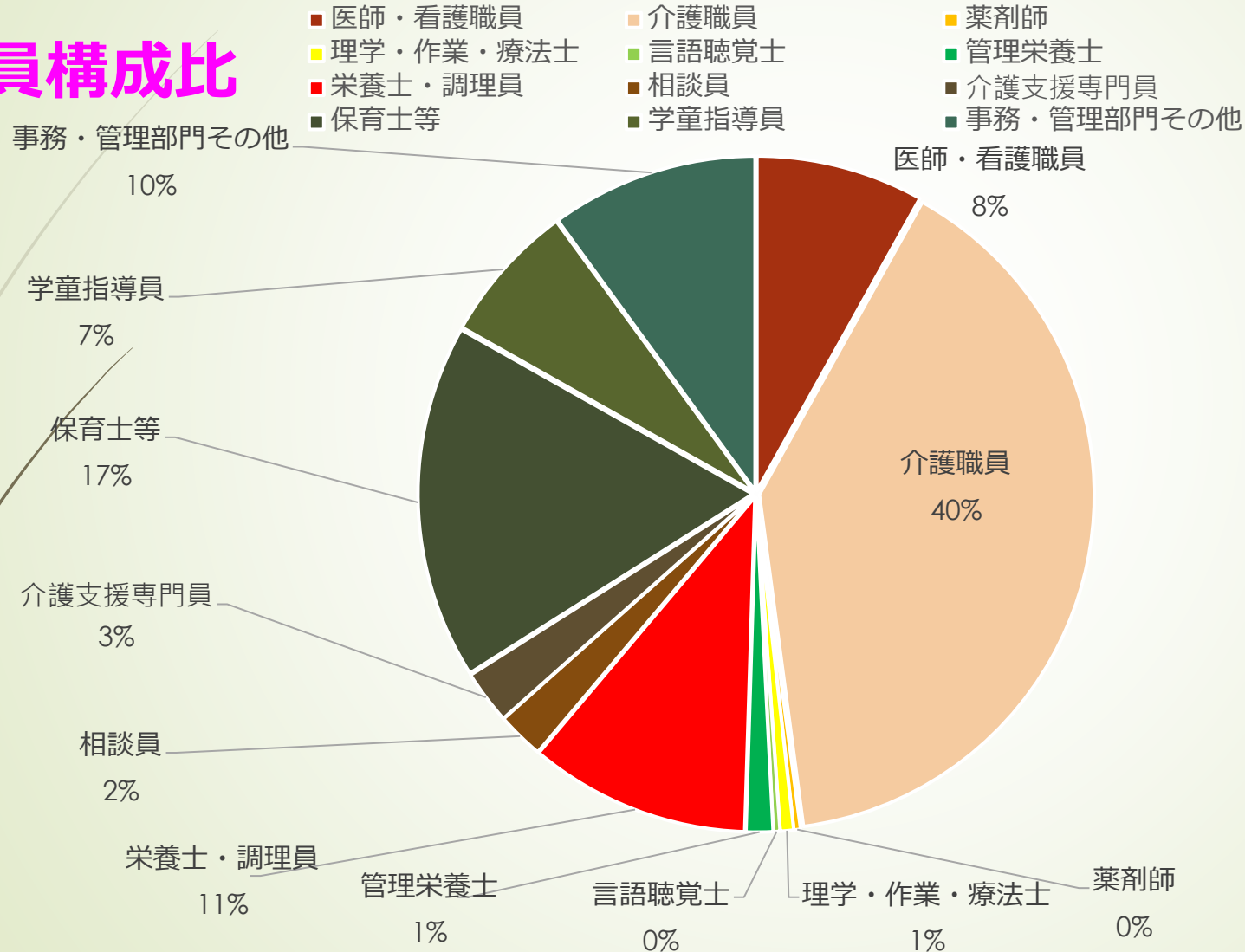


売上高構成比

高齢系：74%
児童系：26%

2021年度 決算概要 Ⅲ

人員構成比



介護職員離職率

令和元年 9.6%
 令和2年 2.5%
 令和3年 4.8%
平均：5.7%

期末人員計：307名
 (前年比102.3%)

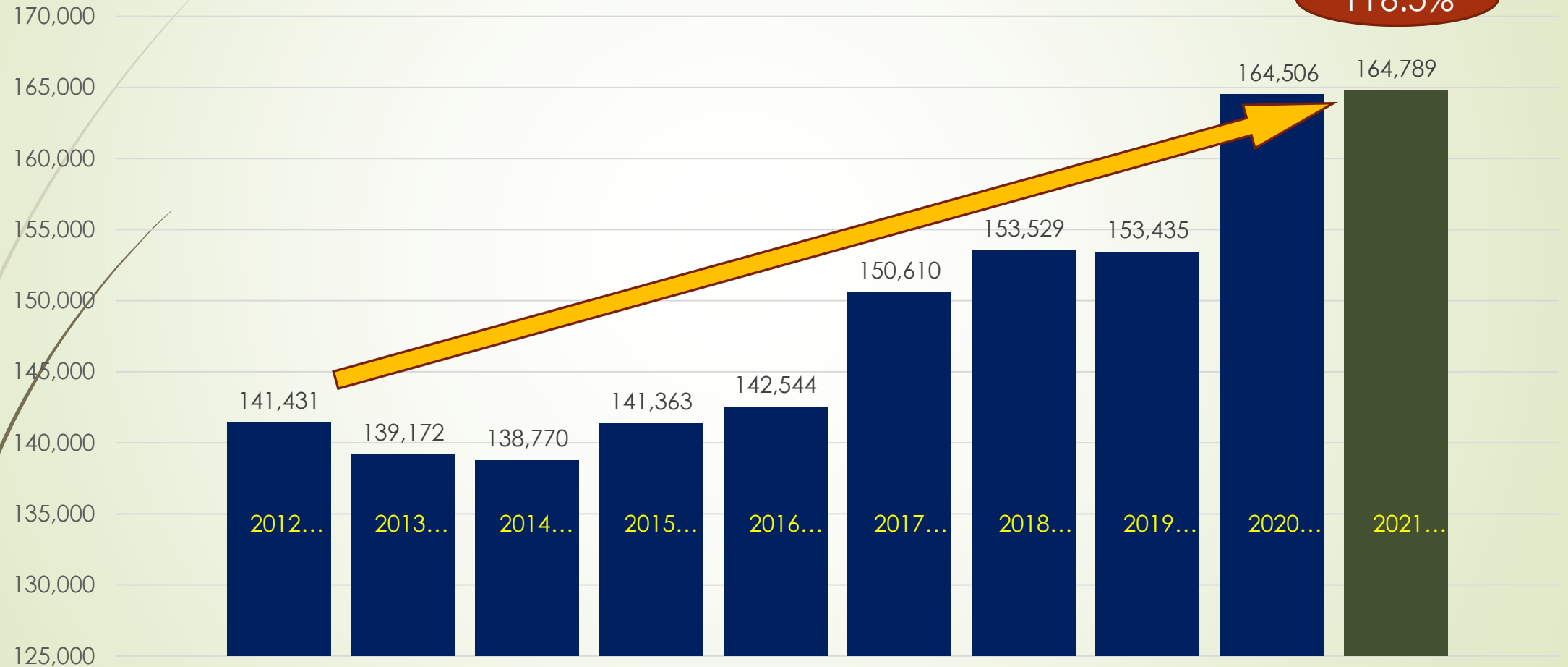
【離職率】常勤職員
 介護職員：4.8%
 看護職員：16.7%
 保育士：3.4%
 学童：25.0%
 全体：5.3%
 (含む非常勤)

1% : 6.

2022新卒採用：26名

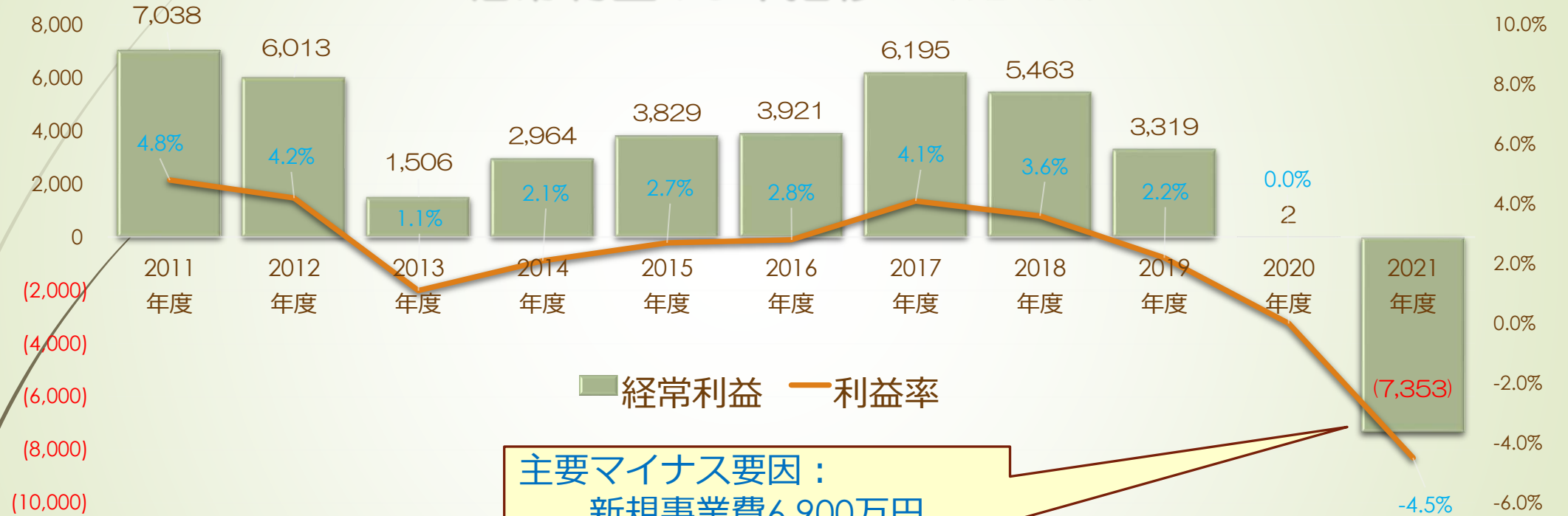
2021年度 決算概要 IV

売上高10年推移（事業活動収入）（単位：万円）



2021年度 決算概要 V

経常利益10年推移 (単位：万円)



主要マイナス要因：
 新規事業費6,900万円
 和光園クスターによる影響
 約2,325万円

拠点別事業報告

- 1. 愛生苑
- 2. 和光園
- 3. やまと保育園
- 4. やまとさくら保育園
- 5. 多摩市第二小学童クラブ



2021年度 決算概要 VI

	定員	稼働状況		サービス活動	サービス活動	サービス活動	経常利益	資金収支差額
		計画	実績	収益	費用	増減差額		
本部				0	10,362,378	-10,362,378	-9,728,417	8,340,013
愛生苑	特養80名	97.5%	97.8%	379,442,278	379,246,535	195,743	621,406	-24,818,005
	ケアハウス16名	100.0%	98.4%	43,032,930	40,042,429	2,990,501	2,942,372	2,776,580
和光園	特養130名	97.5%	95.4%	773,937,418	800,426,239	-26,488,821	-25,894,108	6,445,415
	短期 4名	97.5%	86.1%			0		
	デイ 40名	70.0%	59.1%			0		
	認デ 10名	55.0%	52.0%			0		
やまと保育園	100名	100.0%	86.6%	192,379,878	182,936,907	9,442,971	9,563,309	9,697,204
さくら保育園	60名	100.0%	90.0%	167,440,262	161,030,092	6,410,170	6,515,835	7,098,157
第二小学童	135名	98.5%	87.5%	72,070,740	70,726,407	1,344,333	1,764,881	-17,904,668
新宿和光園準備				4,831,000	68,994,060	-64,163,060	-64,977,552	-91,159,191
小計				1,633,134,506	1,713,765,047	-80,630,541	-79,192,274	-99,524,495
和光園診療所				16,348,419	10,693,782	5,654,637	5,658,740	4,834,935
合計				1,649,482,925	1,724,458,829	-74,975,904	-73,533,534	-94,689,560
内部取引消去				-1,595,856	-1,595,856			
法人合計				1,647,887,069	1,722,862,973	-74,975,904	-73,533,534	

愛 生 苑（特養・ケアハウス）

【事業報告】

- 新型コロナウイルスに関する取り組み
 - ア) 職員の身近に起こるコロナ陽性・疑い・症状等の報告を徹底し、早期に特別有給を付与検査の実施をすることで施設内持ち込みは0件であった。検査実績：抗原検査1500回 PCR検査4500回（2021年4月～2022年3月まで）
 - イ) 月2回課長会議、月1回感染症対策委員会、臨時感染症委員会にて現状の対策・面会の評価、更なる対策の会議を実施。BCP・マニュアル・ゾーニングの見直しを都度行った。居室設置用陰圧機を4台購入し、雪隠訓練も行った。
 - ウ) 小単位イベントだけでなく全体行事として10月にハロウィンパーティーを行った。
- 人材確保と育成、新組織体制の構築
 - ア) 年間出向実績：カメラア会8名、厚生荘病院6名。
 - イ) 副施設長の選任、課長、主任の人事を行った。
- 利用者サービスの充実化
 - ア) イ) 12月にISO取得
- 老朽化した建物の修繕、特性のある地域に求められる施設づくり
 - ア) 担当者の増員による清掃強化。冷温水発生器・ナースコール入れ替え。中庭ウッドデッキのリニューアル。
 - イ) 食事会はお弁当スタイルに変え、10月から6回実施。また小学校福祉体験も年5回実施。

和光園（特養・ケアセンター）



【事業報告】

- 人材対策の推進
 - ア) 感染症対策の強化と徹底 クラスタ以降、感染症対策を強化し情報共有の見直し実施。
 - イ) 人材交流 他法人特養への出向（福祉課3名医務課1名）
- 利用者サービスの充実化
 - ア) こやまケア推進（お客様アンケート実施・チームケア学会発表・法人内研究発表
法人内及び法人間相互監査実施・研修会開催）
 - イ) 感染症対策の強化 抗原検査チェック体制の確立、感染症対策の随時見直し
- 地域貢献
 - 地域貢献活動（百草団地食事イベント・多摩市内小学校福祉体験授業・社協との連携）
- 大規模災害・感染症に対するリスクへの取り組み
 - 毎月の防災メールによる職員連絡ツールの確認
 - WEBを使用した情報共有及び研修の実施・消防訓練の実施

やまと保育園



【事業報告】

- 人材育成の推進
 - ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組みを構築し、積極的に研修を受講
 - イ) 副主任をOJT教育担当とし個別行動計画をもとにきめ細やかな育成を実践した。
- 利用者サービスの充実と関係機関との連携強化
 - ア) 保育ICTソフトおよびSNSを活用し、画像や映像での情報発信を積極的に取り組んだ。
 - イ) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、保育の共有化及び標準化を推進した。
 - ウ) 子育て困難家庭や発達支援の必要な児童への適切な助言と関係機関との連携を強化し情報共有に努めた。
- 地域包括ケアの推進
 - ア) 保育士および歯科衛生士の実習受け入れ、次世代の人材育成においても地域の子育て拠点の役割を担った。
 - イ) コロナ禍においても、離乳食講習会に加え、新たに食事付き育児相談、わらべうた講習会などの地域子育て支援講座の新サービスを開催した。
- 大規模災害・感染症に対するリスクへの取り組み
 - ア) 地震や火災以外の洪水などの災害を想定した避難訓練を実施し、いざという時に対応できるシュミレーションを実施した。
 - イ) コロナ情報を迅速に発信し、保護者に対して集団生活でのリスク回避の啓発を行った。

やまとさくら保育園

【重点推進事項】

- 育成の推進
 - ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化で組織を強化
 - イ) 個人別年間研修計画を作成し、前期後期で面談を実施
- 利用者サービスの充実化
 - ア) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、福祉職としての原点に立ち戻り、保育の共有化及び標準化を推進するために、職員間の共有事項を常に確認、実行
 - イ) 新たな保育ニーズに対応した保育サービスの検証と拡充。
- 地域事業への参加・推進
 - ア) コロナ過でほとんどのイベントが中止となったが地域子育て講座などを今後に向けて積極的に推進し、子育ての専門性を地域に還元するために積極的にSNSを活用し、地域との交流の土台を構築するため情報発信を行った。
 - イ) 保育士および歯科衛生士の実習受け入れ、次世代の人材育成においても地域の子育て拠点の役割を担った。
- 大規模災害・感染症に対するリスクへの取組
 - ア) 危機管理マニュアルの見直し。災害想定訓練及び風水害対策の整備の為近隣施設に災害時の避難先などを確認
 - イ) 感染症防止策を講じた事業の見直しとして、研修・対策の見直し、強化を図った。



多摩市第二小学童クラブ



【事業報告】

○ 職員育成について

- ア) 世代交代を見据えた若手・コア人材の育成の実施。個人面談を実施し職員の現状や希望を聞いた上で、若手職員の成長・活躍の場を設けた。
- イ) グループ内の経営初級講座・基礎講座に参加し知識を深めた。

○ 運営について

- ア) 令和3年度は135名定員でスタートした。待機児童は0名だった。テレワーク等の保護者の就業形態の変化に伴い、今後の児童の申請数増減の見極め・対応を考えていく必要性を感じた。
- イ) 今年度も2階のエアコンの不調等もあり、必要な機器・備品等については多摩市とその都度折衝して整えていく。
- ウ) withコロナの中、常時施設内の消毒や児童、職員の健康管理を徹底した。また緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置発令中は小学校とも綿密に連携を取り、協力して対応にあたった。
- エ) 児童系で給与形態を合わせ、支出をコントロールした運営の見直しを図った。

○ 地域活動について

- ア) コロナウイルスの影響で数少ない学校行事の見学を行い、多角的側面から児童理解に努めた。
- イ) 青少協第二地区委員会の定例会は緊急事態宣言解除後に行われた。情報共有のため、積極的に参加した。

ご清聴ありがとうございました。

